

サイバーリスク関連保険への取り組み強化とサイバー保険室の新設 ～ニーズが急拡大するサイバーリスク関連保険への対応強化に向けた取り組み～

2017年10月12日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）は、ニーズが急拡大しているサイバーリスクに関する商品の開発や契約の引受の体制強化を目的として、企業向け保険商品の開発・引受を担う「サイバー保険室」を9月1日に設置しました。

1. 背景

- ・近年多発する大規模な情報漏えい事件の発生、個人情報保護法の改正、本年5月に発生したWannaCry^{※1}による世界同時サイバー攻撃などにみられるように、企業を取り巻くサイバーリスクの脅威は急激な高まりを見せています。
- ・また、リスクの性質も多様化しており、サイバーリスクに対応する保険に求められる補償ニーズも拡がりを見せています。
- ・このような情勢を受け、当社におけるサイバーリスク関連保険（サイバーセキュリティ保険、情報漏えい賠償責任保険、IT業務賠償責任保険）は、年率10%強の伸びを示しており、特に補償内容が最も充実している「サイバーセキュリティ保険」の販売件数は急増しています。
- ・当社では絶え間なく変化するサイバーリスクへの保険商品開発や引受の体制強化を目的として「サイバー保険室」を新たに設置し、サイバーリスクへの対応を進める企業のニーズに即した商品の開発や引受を進めていきます。

※1 「WannaCry」とは、感染したパソコンのファイルを暗号化したりシステムへのアクセスを制限することにより使用不能とし、その解除を引き換えに身代金を要求するランサムウェア（身代金要求型不正プログラム）で、2017年5月に世界規模での被害を発生させました。

2. 取り組み

（1）サイバー保険室の新設

- ・商品開発ラインと商品引受ラインからなる「サイバー保険室」を企業商品部内に新設し、サイバーリスク関連保険の新商品の開発や各企業のリスク状況に即した保険引受の体制を強化します。
- ・「サイバー保険室」の新設により、サイバーリスク関連保険の開発から引受、サイバーリスク関連情報の発信などの対応を一元化することで、マーケットに迅速に分かり易く商品提供等を行うことが可能となります。

（2）変化するマーケットニーズに即した新しい補償の提供および引受の強化

- ・ICTの発展やサイバー攻撃の増加などにより多様化するリスクに対応すべく、新しい補償の提供に対応した商品開発を進めるとともに、各企業のニーズやリスク・サイバーセキュリティ対策実態を踏まえた、オーダーメイド型のサイバー関連保険の引受を強化します。
- ・サイバーセキュリティサービスや、モノがインターネットにつながるIoT製品等に付随する固有のリスクに対応した商品付帯型保険の展開を進めていきます。

以上